

2026 年 9 月 16 日

公共交通オープンデータ協議会

国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課

GTFS-Flex 形式を含むデマンド交通データの公開を拡大、活用を促進

公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 東京大学名誉教授）は、5 事業者の協力を得て、14 自治体の GTFS-Flex 形式を含むデマンド交通データを、「公共交通オープンデータチャレンジ 2026」（以下「チャレンジ」）において本日より順次公開します。昨年度のチャレンジでは、日本国内で初めて、3 事業者の協力により 9 自治体のデータを公開しており、本年度はその規模を拡大しました。

人口減少や運転者不足などにより地域交通を取り巻く環境が厳しさを増すなか、「交通空白」の解消に向けて、利用者の予約に応じて運行ルートやダイヤが決まるデマンド交通の導入が進んでいます。これにともない、その運行情報を標準化して提供するためのデータ形式である GTFS-Flex の活用も広がっています。たとえば、国土交通省の地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmONS（コモンズ）」では、昨年度、地域公共交通計画策定支援ツール「LINKS Mobilys」が公開されました。GTFS 等のオープンデータを活用し、自治体職員や交通事業者が自ら地域交通の可視化・分析・シミュレーションを行えるもので、GTFS-Flex への対応が今年度の機能拡張として予定されています。

こうしたなか、昨年度のチャレンジには、GTFS-Flex 形式のデータを活用した作品が複数寄せられ、受賞した 13 作品のうち 3 作品が GTFS-Flex 形式のデータを活用していました。これらの作品を通じて、GTFS-Flex が利用者向けサービスだけでなく、デマンド交通の可視化・分析や自治体の意思決定支援にも活用できる可能性が示されました。

GTFS-Flex の活用をさらに促進するため、2026 年 10 月 1 日（木）に、デマンド交通をテーマとするウェビナーを開催します。ウェビナーでは、GTFS-Flex やデマンド交通オープンデータの概要・活用事例を紹介します。自治体・交通事業者や、本チャレンジへの応募を検討する開発者など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

今回のデマンド交通データの公開を通じて、地域交通の課題解決や地域交通 DX の実現につながる作品が、本チャレンジに数多く応募されることを期待します。

以上

[公共交通オープンデータ協議会について]

<https://www.odpt.org/>

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者および ICT 事業者等 167 団体（2026 年 9 月 16 日現在）で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空、フェリー、シェアサイクルの分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。2019 年 5 月より、さまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」を運用しています。

[公共交通オープンデータチャレンジ 2026 について]

<https://challenge2026.odpt.org/>

「公共交通オープンデータチャレンジ 2026」は、多数の公共交通関連データや国土交通省のオープンデータを一般の開発者に公開し、それらを活用したアプリケーション・サービス作品を開発、応募していただく、賞金総額最大 300 万円のアプリケーションコンテストです。公共交通オープンデータ協議会と国土交通省が共同で開催しています。

2026 年 9 月現在、25 社局の鉄道事業者、107 社局の路線バス事業者、352 組織のコミュニティバス、14 自治体（5 事業者）のデマンド交通、28 組織のフェリー事業者、4 社の航空・空港関係事業者、2 社のシェアサイクル事業者が公共交通データの提供に協力しています。また、国土交通省の「Project LINKS」および「COMmmONS (コモンズ)」と連携するとともに、「歩行空間ナビ・プロジェクト (ほこナビ)」や「PLATEAU」が公開するオープンデータの活用も推奨しています。

開催期間は 2026 年 7 月 1 日(水)から 2027 年 3 月 12 日 (金) まで、応募期間は 2026 年 10 月 1 日(木)から 2027 年 1 月 11 日(月・祝)までとなっています。

[GTFS-Flex について]

GTFS (General Transit Feed Specification) は、公共交通機関に関する国際的なオープンフォーマットです。鉄道、バス、フェリーなどの交通機関について、時刻表、駅・バス停の位置情報、運賃情報などの情報を表現するもので、国内外の様々な乗換案内サービスにおいて採用されています。

GTFS-Flex は、デマンド交通等を表現するための拡張フォーマットであり、2024 年 3 月に GTFS の公式仕様として採用されました。乗り場の場所やサービス提供エリア、予約ルール、乗降可能な時間帯等を記述でき、デマンド交通等の発見や利用を情報面から支えるとともに、経路検索や運行状況の可視化・分析などへの活用が進んでいます。

[地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmONS」について]

<https://www.mlit.go.jp/commmmons/>

国土交通省による「COMmmONS (コモンズ)」は、地域のモビリティ資源をすべての人にとってアクセス可能な共通の社会基盤＝“コモンズ”として捉え、「交通空白」解消に向け、システムやデータ、業務プロセス等を標準化し、付加価値や生産性の抜本的向上を強力に推進するプロジェクトです。

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局 (YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内)

担当: 柏、山田 電話: 03-6426-9192、E-mail: odpt-office@ubin.jp

【別紙 1】今回公開するデマンド交通データの提供元

- MONET Technologies 株式会社の協力により提供
 - 青森県五所川原市、青森県平川市、群馬県安中市、群馬県富岡市、群馬県玉村町、群馬県昭和村、福井県坂井市、和歌山県紀の川市
- SWAT Mobility Japan 株式会社の協力により提供
 - 長野県白馬村
- 順風路株式会社の協力により提供
 - 埼玉県川越市
- ネクスト・モビリティ株式会社の協力により提供
 - 福岡県宗像市、福岡県宇美町
- 株式会社未来シェアの協力により提供
 - 群馬県前橋市、福岡県福智町

【別紙 2】「公共交通オープンデータチャレンジ 2025」の受賞作品で GTFS-Flex 形式データを使った作品

- 優秀賞
 - Mobiviz -デマンド交通分析システム
 - ノッタヨ
- 審査員特別賞
 - Traffic Echo

受賞作品一覧: <https://challenge2025.odpt.org/award/>

【別紙 3】デマンド交通オープンデータ・ウェビナー

日時: 2026 年 10 月 1 日(木) 16:00

主催: 公共交通オープンデータ協議会、国土交通省

内容: デマンド交通データのオープンデータ化や GTFS-Flex の概要、デマンド交通事業者によるサービスモデルの紹介、公開データの活用事例等

申込: <https://challenge2026.odpt.org/webinar03.html>